

子育て、待機児童、パート減収…

女性目線で問題提起

静岡市長と「よりよい街」要望 語る会

静岡市女性の会連絡会(41団体、会長・島田充子しずおか女性の会会長)は2日、静岡市葵区のアイセル21で、「市長と語る会」を開いた。田辺信宏市長に対し、よりよい街づくりを進めてもらおうと、子育てや高齢者など四つの分野について代表7人が女性の視点から問題提起した。

(経済部・加藤愛己)

今年で5回目の開催してもらえると助か
催。子育て分野は、N
PO法人よしよし代表
の末吉喜恵さん(44)が
まず、「昨年(民間の
発表で)静岡市が子育
てしやすい街全国1位
とされたが、実感があ
かない」と指摘した。
その上で、育児休業中
の女性の不安材料に
保育園待機児童問題
を挙げ、4月の職場復
帰を目指す際、入園可
否決定が2月中旬では
その後の対応が困難
として「12月には決定
しない」と指摘した。

高齢者分野について
はJA静岡市女性部の
鈴木和恵さん(74)が中
山間地は過疎化に伴い
空き家が増えているこ
とや、高齢者が日用品
の買い物や病院への通
院に困っていることを
指摘し、「『買い物難
民』に配慮し、具体策
を考えてほしい」と要
望した。



女性の視点から市政に問題
提起する静岡市女性の会連
絡会の会員ら＝静岡市葵区
のアイセル21